



2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年1月9日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東
 コード番号 6552 URL https://gamewith.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 東 陽亮 TEL 03-5775-5233
 四半期報告書提出予定日 2019年1月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の業績（2018年6月1日～2018年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	1,575	22.5	504	△19.3	502	△19.2	348	△21.5
2018年5月期第2四半期	1,286	—	624	—	622	—	444	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	20.02	18.98
2018年5月期第2四半期	26.71	24.24

- (注) 1. 当社は、2018年5月期第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、2018年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 当社は、2017年6月30日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2018年5月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2018年5月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 当社は、2018年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2018年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	3,454	2,895	83.8
2018年5月期	3,181	2,544	80.0

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 2,895百万円 2018年5月期 2,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年5月期の業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,154	17.8	905	△22.5	904	△22.6	623	△23.6	35.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期2Q	17,452,000株	2018年5月期	17,312,000株
② 期末自己株式数	2019年5月期2Q	68株	2018年5月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期2Q	17,411,801株	2018年5月期2Q	16,631,366株

（注）当社は、2018年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2018年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2018年5月期2Qの期中平均株式数（四半期累計）を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2019年1月9日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、景気は緩やかな回復基調が続いており、企業収益や企業の業況判断も改善しています。また、個人消費についても緩やかに持ち直しており、ゲームを楽しむユーザーは引き続き増加傾向にありました。

このような状況の下、当社は「ゲームをより楽しめる世界を創る」を企業理念として掲げ、ゲーム情報メディア「GameWith」において、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲームレビュー」、③ゲームユーザー同士で交流できる機能を提供する「コミュニティ」、④ゲームタレントがYouTube上で行う「動画配信」、という主な4つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」のメディアの価値を高めてまいりました。

当社の事業は、上記コンテンツをサイトの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売することにより収益を得ております。当第2四半期累計期間においては、広告媒体のWebサイトを多数集めて形成される「ネットワーク広告」において、前期より取り組んできた広告運用体制の構築により広告単価が改善し、収益性が向上しました。また、特定のゲームタイトルにおいてより多くの情報や動画など付加価値の高い広告枠を制作し当社サイトで提供する「タイアップ広告」においても、主にゲーム会社各社からの需要が高く、順調に推移しました。

一方、既存事業での積極採用に加えて海外展開及び新規事業においても人材採用を推進した結果、主に人件費に関連する費用が増加しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,575百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益は504百万円（同19.3%減）、経常利益は502百万円（同19.2%減）、四半期純利益は348百万円（同21.5%減）となりました。

なお、当社は「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,454百万円となり、前事業年度末に比べ273百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が111百万円、売掛金が105百万円、敷金が54百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は558百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が94百万円減少したものの、賞与引当金が17百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,895百万円となり、前事業年度末に比べ350百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上により利益剰余金が348百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は83.8%（前事業年度末は80.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前事業年度末に比べ111百万円増加し、2,525百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は168百万円（前年同期は422百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を502百万円計上したものの、売上債権が105百万円増加し、法人税等を249百万円支払ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は59百万円（前年同期は60百万円の支出）となりました。これは主に、敷金の差入による支出56百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2百万円（前年同期は281百万円の獲得）となりました。これは、新株予約権の行使に伴う株式の発行によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年7月11日の「平成30年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,414,544	2,525,868
売掛金	362,726	467,845
商品	—	2,507
前払費用	35,672	43,247
その他	4,525	734
流動資産合計	2,817,468	3,040,204
固定資産		
有形固定資産	84,027	79,985
無形固定資産	71	59
投資その他の資産		
投資有価証券	62,034	60,961
敷金	189,944	244,404
繰延税金資産	27,874	29,048
投資その他の資産合計	279,853	334,414
固定資産合計	363,952	414,459
資産合計	3,181,421	3,454,663
負債の部		
流動負債		
未払金	99,752	98,445
未払費用	84,416	95,734
未払法人税等	265,122	171,003
預り金	11,231	13,467
賞与引当金	57,922	75,785
その他	82,794	69,257
流動負債合計	601,240	523,694
固定負債		
資産除去債務	35,268	35,274
固定負債合計	35,268	35,274
負債合計	636,508	558,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	492,225	493,345
資本剰余金	491,224	492,344
利益剰余金	1,561,581	1,910,123
自己株式	△118	△118
株主資本合計	2,544,912	2,895,694
純資産合計	2,544,912	2,895,694
負債純資産合計	3,181,421	3,454,663

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	1,286,007	1,575,030
売上原価	393,532	607,957
売上総利益	892,475	967,072
販売費及び一般管理費	267,679	463,007
営業利益	624,795	504,065
営業外収益		
受取利息	6	11
助成金収入	—	570
その他	4	72
営業外収益合計	10	654
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	1,072
株式交付費	774	—
株式公開費用	1,000	—
為替差損	649	753
営業外費用合計	2,424	1,826
経常利益	622,381	502,893
税引前四半期純利益	622,381	502,893
法人税、住民税及び事業税	184,872	155,525
法人税等調整額	△6,702	△1,174
法人税等合計	178,169	154,351
四半期純利益	444,211	348,542

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	622,381	502,893
減価償却費	10,538	10,876
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,572	17,863
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	1,072
受取利息	△6	△11
株式交付費	774	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,191	△105,119
その他	△23,975	△10,064
小計	570,093	417,509
利息の受取額	6	11
法人税等の支払額	△147,642	△249,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,456	168,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,336	△4,731
敷金の差入による支出	△56,028	△56,166
敷金の回収による収入	—	1,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,364	△59,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	281,849	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,849	2,240
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	643,941	111,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,335,131	2,414,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,979,072	2,525,868

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。

(重要な後発事象)

(ストック・オプション(新株予約権)の発行)

当社は、本日開催の取締役会において、中長期的な当社の業績拡大及び企業価値の増大を目指すにあたり、より一層意欲及び士気を向上させ、当社の結束力をさらに高めることを目的として、会社法第236条、第238条及び第240条の規定に基づき、当社の従業員に対し、ストック・オプションとして新株予約権を発行することを決議いたしました。

詳細につきましては、本日付の「ストック・オプション(新株予約権)の発行に関するお知らせ」に記載のとおりであります。